



三小としょだより

令和2年2月10日 調布市立第三小学校長 辻 久恵
図書室 司書 岡部砂百合



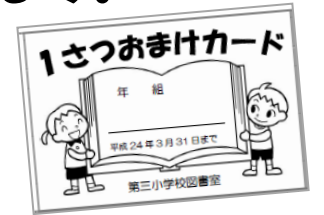
3学期の本の貸し出しは

3月10日(火)でおわいます。

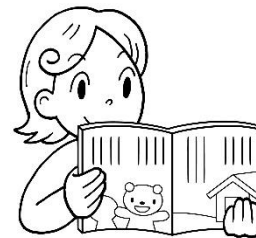
※本は読んだら早めに返しましょう。

本の返却に注意しましょう。

※「おまけカード」を持っている人は早めに使いましょう。



乾燥した寒い日が続いています。インフルエンザで学級閉鎖もありました。体調管理には気を付けましょう。図書室は多くの方が利用します。図書室に来るときは、なるべく手を洗ってきてください。また、図書室から出た時も洗うといいですね。



「とらいあんぐる」のお話会

2月のお話会・2月18日(火)中休み
場所・・・図書室

*たくさんの方のご来館をお待ちしています。

「本の福袋」はまだまだやってるよ!

2月21日(金)まで延長。

※なわとび旬間とかさなるので、中休みはなかなかかりられませんね。そこで、「本の福袋」は2月21日(金)まで延長しました。

2月5日(水)から、福袋の中の本を一部分、入れ替えました!

1月15日(水)から、たくさんの方が「本の福袋」を借りに来てくれています。福袋はどんな本が入っているか、わからないので、ときどきわくわくしますよね。

「本の福袋」に入っていた本は、図書委員さんが選んで、袋に本のコメントを書いています。(一部は新しい本)本の入れ替えもしています。



一袋はかりてみよう!



新しい本 (貸し出ししています)



題名	作者	出版社
こわくなったら やってみて	E オーレリー・シアン・ショウ・シーヌ	主婦の友社
かなしくなったら やってみて	E //	//
おこりたくなったら やってみて	E //	//
ひとりぼっちじゃないんだよ	E 横井 恵子	クロスワイズ
スター☆ガール	933 ス ジェリー・スピネッリ	理論社
わたしが誘拐された?	913 イ 井口 民機	学習研究社

題名	作者	出版社	
こちら妖怪お悩み相談室	913 シ	清水 温子	岩崎書店
54字の物語	913 ウ	氏田 雄介	PHP 研究所
邪馬台戦記 1	913 ト	東郷 隆	静山社
ラストサバイバル	913 オ	大久保 開	集英社
かいけつゾロリスターたんしょう	913 ハ	原 ゆたか	ポプラ社
スポーツのコツ絵事典	790 ヒ	田中 光 (監修)	PHP 研究所
おしごと年鑑2019	366 タ		朝日新聞社
F.C. TOKYO 20YEARS	783 エ		東京フットボール クラブ株式会社
日本の電車1500	536 ニ		学習研究社
ぴよこたんのなぞなぞチャレンジ999		このみ ひかる	あかね書房

【火曜日のごちそうはヒキガエル】

ラッセルE・エリクソン/作 評論社
 ウォートンとモートンはヒキガエルの兄弟。二ひきはなかよく、土の中の家でく
 らしています。冬のある日、ウォートンが、おばさんをたずねることになりました。
 お弁当を持ってスキーで出かけました。ところが、ミミズクが大きなたつばさをひろげ
 で、近寄ってきました。ウォートンは次の火曜日のたんじょう日
 のごちそうとして、ミミズクにつかまってしまったのです。

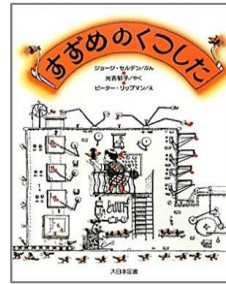


【雪わたり】

宮沢 賢治/作 岩崎書店
 野原の雪がすっかり凍って大理石よりもかたくなり、ちいさなかがみのようにキ
 ラキラ光る日、四郎とかん子が「かた雪かんこ、しみ雪しんこ」と森の近くまで来ま
 した。そこへ、「しみ雪しんしん、かた雪かんかん」と白いきつねの子が出てきます。

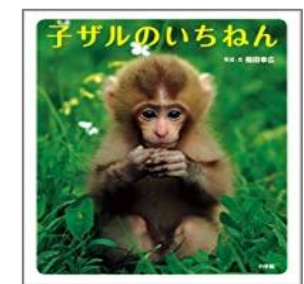
【楽しいスケート遠足】

ヒルダ・ファン・マヌエル・イトゥルストックム作/絵 福音館書店
 昔のオランダのお話です。低地が広がるオランダは、運河や水路が多い国です。
 冬になると、国中の運河や水路が凍りつき、何十キロ、何百キロとも知れない氷
 の道ができるそうです。それで、スケートが盛んで、「子供は歩く前にすべることを覚
 える」と言われるほどだそうです。そして、今でも、二百キロ近くの長距離レースに
 一万人もが参加するという事です。16人の子供たちと先生がスケート遠足にでか
 けました。どんなできごとが待ちうけているでしょう。



【杉みき子選集1 わらぐつのなかの神様】

杉 みき子/作 新潟日報事業社
 この本の中には12のお話があります。雪の多い地方らしいお話が多いです。
 わらぐつの神様もその一つです。わらぐつとは雪の多い地方ではなく、
 藁で作った長靴です。今ではあまり利用されなくなりました。



【子ざるのいちねん】

福田 幸広 写真/文 小学館
 冬、温泉にはいるかわいい日本ざるをご覧ください。

本の紹介

寒い日にほっこりするようなお話

【すずめのくつした】

ジョージ・セルデン/文 大日本出版社
 アンガスの家はくつした工場で靴下を作っています。寒い
 冬になってもなかなか靴下がうれえません。ある日、アンガスの
 なかよしのすずめに、靴下をつくってあげました。やがて、
 新しいがらの小さな靴下は町じゅうの評判になったのです。

【きつねのスケート】

ゆもと かずみ/文 徳間書店
 親から離れ、住む場所をさがしてへとへとになったきつねが、
 小さな森にたどりつきました。そして、森の動物たちにたすけ
 られました。とりわけ、小さいものしずかなねずみとは大のなか
 よしになりました。でもきつねは、こんな小さな森は退屈だと
 思っていました。寒い冬、森はずれの湖に氷が張った時に、
 湖のむこうをめざして出ていってしまいます。さて・・・。